

埼玉県特別支援教育推進計画(令和7年度～令和9年度)の概要

第1章 総論

1 計画策定の趣旨・計画期間

「第4期埼玉県教育振興基本計画」に基づき、障害のある子供と障害のない子供が共に過ごすための条件整備をはじめ、全ての子供たちがその意欲や能力に応じて力を発揮できるようにするための特別支援教育の目標や施策を定めたものである。

計画期間は、令和7年度から令和9年度の3年間である。

2 本県における特別支援教育の現状と課題

前計画では、個別の教育支援計画の作成率向上などによる校内支援体制の充実や新校の設置による教育環境の整備など、一定の成果があった。

一方、特別な教育的支援を必要とする子供は依然として増加傾向にあり、学校全体で取り組む校内支援体制の更なる充実や全ての教職員の特別支援教育に関する専門性の向上が求められている。

また、教育環境についても更なる充実を図る必要があるが、その中でも知的障害特別支援学校における過密対策は喫緊の課題である。さらに、特別な教育的支援を必要とする子供に対して、就学前から卒業後まで切れ目ない支援を行うため、学校と福祉、医療、就労など関係機関との連携強化が一層重要となっている。

3 本計画で目指すべき方向性

これまでの成果や課題等を踏まえ、障害のある子供と障害のない子供が共に学ぶことを追求するとともに、連続性のある「多様な学びの場」における教育の質の向上を目指す。

また、教職員の専門性向上や校内支援体制の充実、学校と関係機関との連携強化、知的障害特別支援学校の過密対策などにも取り組み、共生社会の実現に向けた特別支援教育を推進する。

第2章 施策の展開

目標Ⅰ 連続性のある「多様な学びの場」の充実

【施策】

- 1 就学前における早期からの相談・支援の充実
- 2 公立小・中学校等における学びの場の充実
- 3 県立高等学校における学びの場の充実
- 4 県立特別支援学校における学びの場の充実

【主な取組】

- ・校内支援体制の更なる充実
- ・特別支援教育コーディネーターの負担軽減
- ・共生社会の形成に向けた支援籍学習や交流及び共同学習の推進
- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりなどの充実
- ・個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成・活用
- ・一人一人の障害の状態や発達段階に応じた指導・支援の充実

目標Ⅱ 特別支援教育を担う教職員の専門性向上

【施策】

- 5 全ての教職員に求められる特別支援教育に関する専門性の向上
- 6 通級による指導、特別支援学級を担当する教員に求められる専門性の向上
- 7 県立特別支援学校の教職員に求められる専門性の向上

【主な取組】

- ・管理職の特別支援教育に関する専門性の向上
- ・新規採用者の特別支援教育に関する経験の蓄積
- ・新たに特別支援教育を担当する教員へのフォローアップ体制の充実
- ・特別支援教育推進専門員による巡回支援
- ・高等学校拠点校巡回支援による校内支援体制の充実
- ・免許法認定講習の活用による免許状保有率の更なる向上

第2章 施策の展開

目標Ⅲ 教育環境の整備

【施策】

- 8 公立小・中学校等における教育環境の整備
- 9 県立高等学校における教育環境の整備
- 10 県立特別支援学校における教育環境の整備
- 11 学校施設のバリアフリー化の推進



【主な取組】

- ・知的障害特別支援学校における過密状況の改善
- ・通級による指導を担当する教員の適切な配置
- ・巡回型の「通級による指導」の推進
- ・高等学校における通級による指導の導入の推進
- ・特別支援教育支援員及び生活介助支援員の配置

目標Ⅳ 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実

【施策】

- 12 就学前の連携
- 13 在学中の連携
- 14 卒業後の連携
- 15 医療的ケアが必要な子供への対応



【主な取組】

- ・長期的な視点に立った教育相談・就学相談の実施
- ・医療的ケア児及びその家族に対する支援の充実
- ・関係機関が集う協議会等による連携体制の構築
- ・中学校と高等学校の情報共有による支援体制の充実
- ・個別の教育支援計画等を活用した就労関係機関への引継ぎの徹底

第3章 計画の進行管理

目標ごとに具体的な指標を設け、指標を基にPDCAサイクルによる検証を行うことで、年度毎に本計画の進捗管理を行う。

目標	指標				現状(R5)	目標(R9)	
目標Ⅰ 連続性のある 「多様な学びの場」の充実	1	通常の学級における個別の教育支援計画 及び個別の指導計画の作成率	個別の教育支援計画	公立幼稚園	90.9%	100%	
				公立小学校	97.7%	100%	
				公立中学校	93.0%	100%	
				公立高等学校	100%	100%	
			個別の指導計画	公立幼稚園	91.0%	100%	
				公立小学校	97.7%	100%	
				公立中学校	93.8%	100%	
公立高等学校				100%	100%		
2	支援籍学習を支える学校支援ボランティアの登録者数	515人	760人				
3	特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率	85.4%	91.5%				
目標Ⅱ 特別支援教育を担う 教職員の専門性向上	4	特別支援学級における特別支援学校教諭免許状保有率	35.4%	40.0%			
	5	特別支援学校における特別支援学校教諭免許状保有率	80.2%	95.0%			
目標Ⅲ 教育環境の整備	6	特別支援学校の整備	新設校の設置	県東部地域特別支援学校（仮称）	-	工事着手	
				県西南部地域特別支援学校（仮称）	-	工事着手	
			校舎の改築	和光南特別支援学校	-	工事着手	
			校舎の増築	川口特別支援学校	中央棟	工事着手	供用
					北棟	設計	竣工
目標Ⅳ 関係機関の連携強化による 切れ目ない支援の充実	7	福祉関係機関と連携した連絡会議等の実施率	54.8%	80.0%			
	8	個別の教育支援計画を用いた就労関係機関への引継ぎを行っている割合	67.7%	100%			